



三井金属鉱業株式会社(5706)

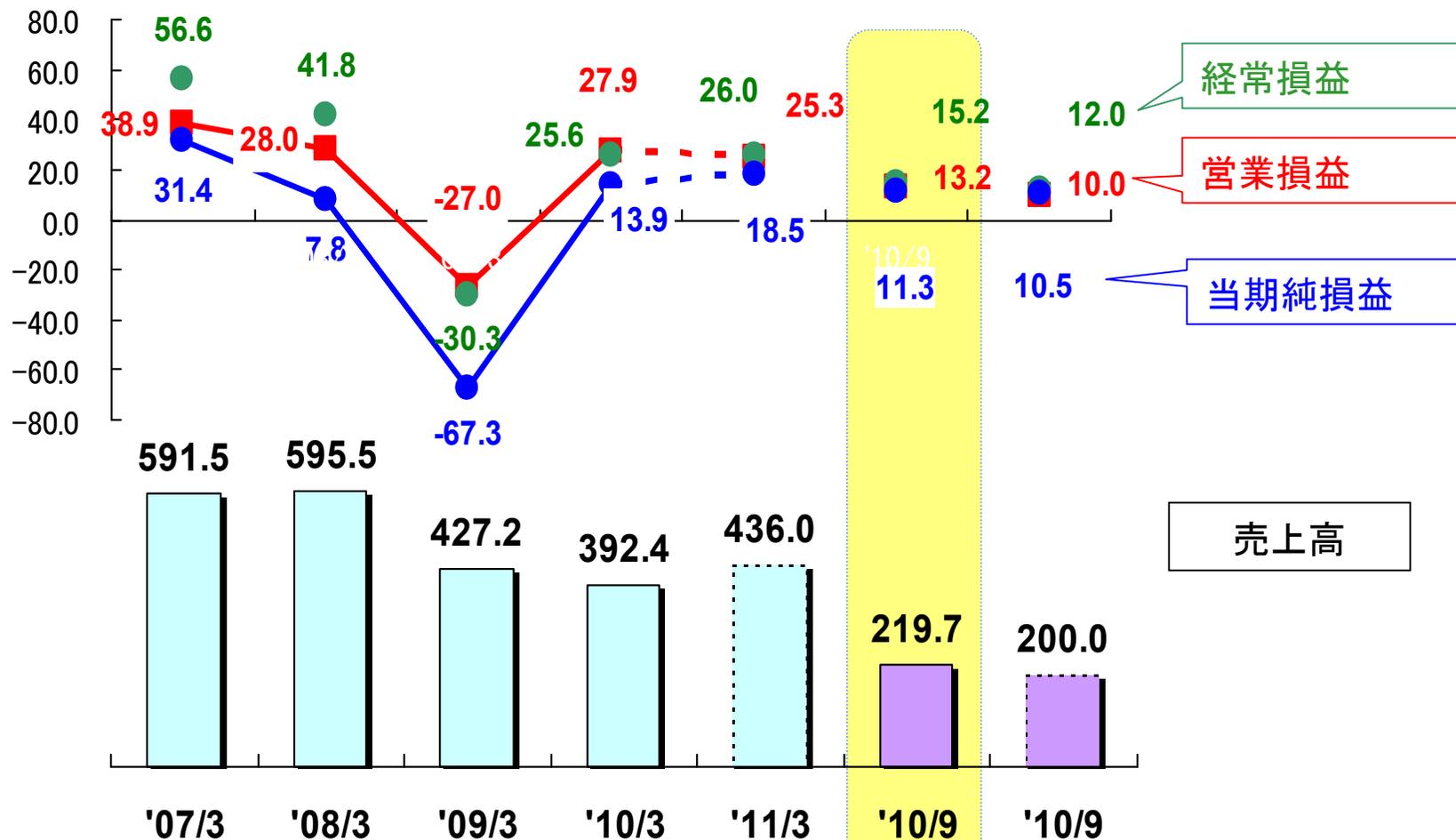
2011年3月期

第2四半期決算説明資料

2010年11月9日

売上高・損益

(単位:十億円)



1株当り配当
連結配当性
向

'07/3	12円	12円	0円	3円	4円
'08/3	21.9%	87.8%	-	12.3%	12.4%

(11/8現在予想)

(5/6予想)

経営の概況

■ 第2四半期累計期間決算 (前年同期比)

- ・ 銅箔、機能材料および自動車機器の堅調な需要と亜鉛価格上昇等により、売上高は全セグメントで増収
営業利益、経常利益、四半期純利益とも大幅増益。

銅 箔: スマートフォン・自動車・通信インフラ向け等が牽引し、市場は本格回復。

機能材料: トレンドは銅箔と同様。触媒は堅調に市場拡大。

金属環境: 主要地金価格は上昇するも、前期の棚卸資産在庫要因による利益剥落。

自動車機器: 新興国市場を中心に需要は堅調に推移。

■ 通期見通し (前回予想比)

- ・ 足許、上期の旺盛な需要は一服感あり。円高と電子材料での季節調整が加わり、通期では期初計画並みを見込む。

銅 箔: 季節調整後の立上がり期待。極薄銅箔の能力増強は年内完了。アジアの能力増強中。

機能材料: 電池材料や液晶関連材料は落込むが、金属粉・触媒でカバーする。

金属環境: 金属価格は高止まりするものの、円高・エネルギーコスト高により減益。

自動車機器: 国内の需要減速あるも、新興市場シフト加速とコストダウンで増益。

■ 今期の方針

- ・ 2010年度で再建完結。財務体質を改善しながら、将来の成長事業への投資も行う。

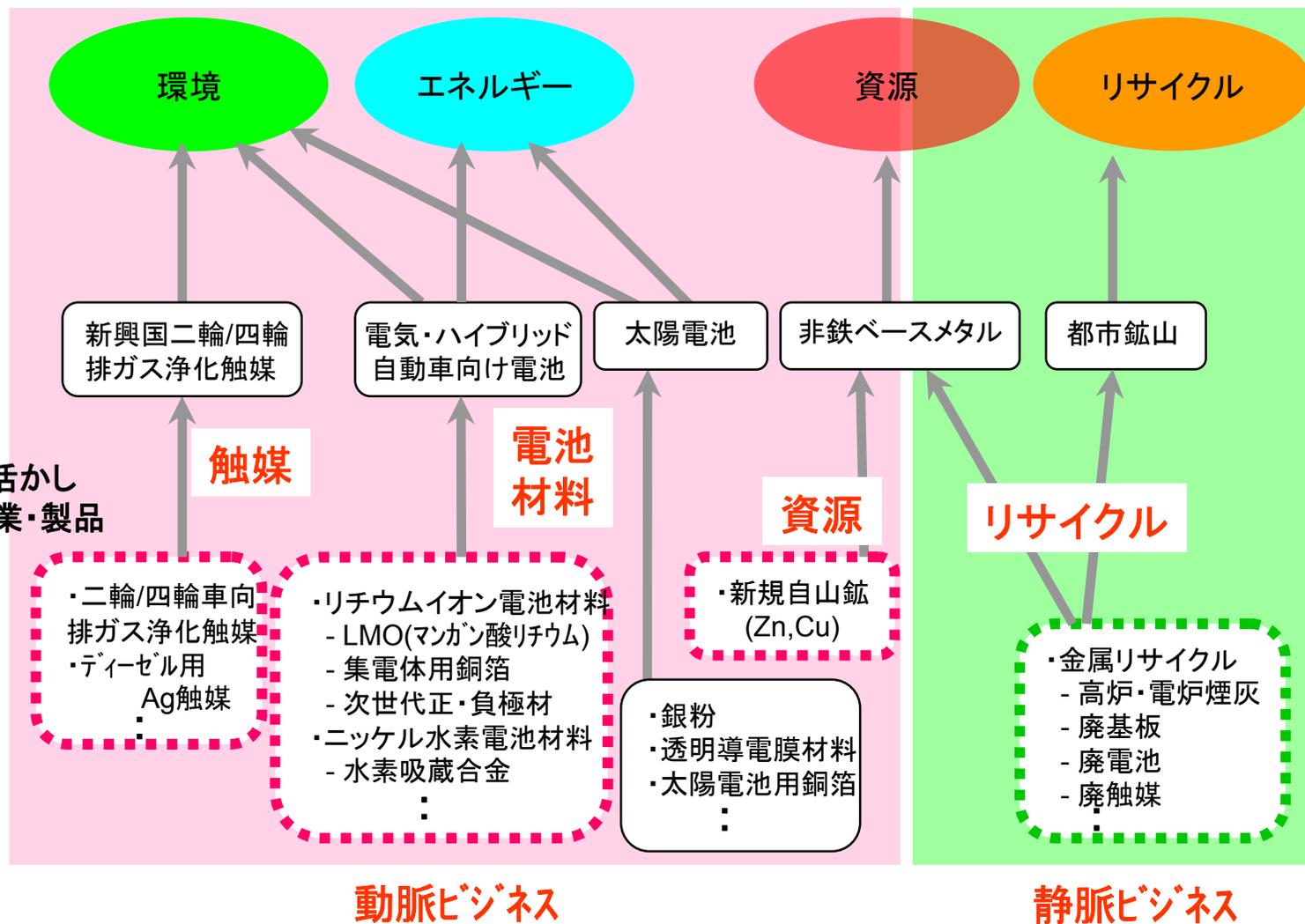
次期中計に向けて

環境、エネルギー、資源、リサイクルに関連する市場を重点市場と位置づけ、「マテリアルの知恵」を活かした素材事業にて、成長ドライバーを創出・育成する。



狙うべき市場

「マテリアルの知恵」を活かし
特に、重点強化する事業・製品



強みのある既存事業(回路用銅箔、金属粉など)の価値向上も追求していく

次期中計を支える新組織改編

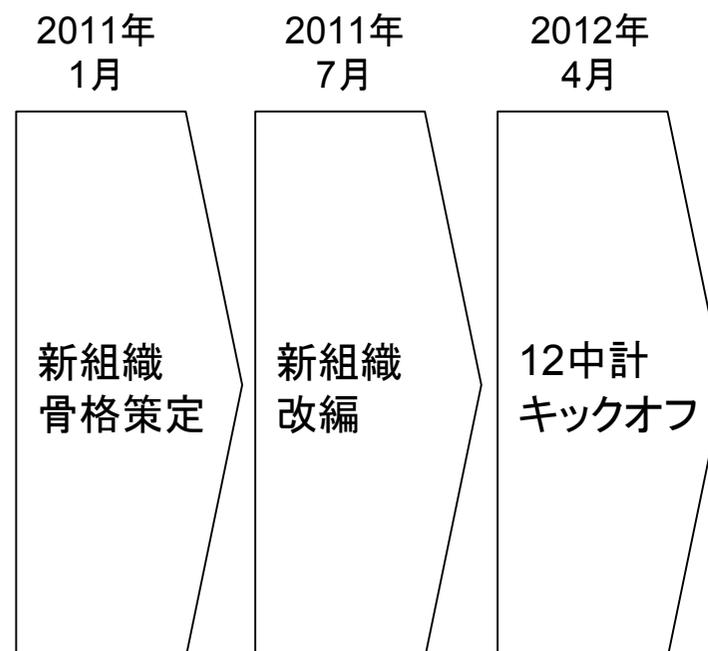
成長ドライバーを創出する「自走可能な」大括りの事業体を設計中。新組織のもと中計編成し、2012年からの3カ年の実行計画に移す。

新組織設計の基本理念

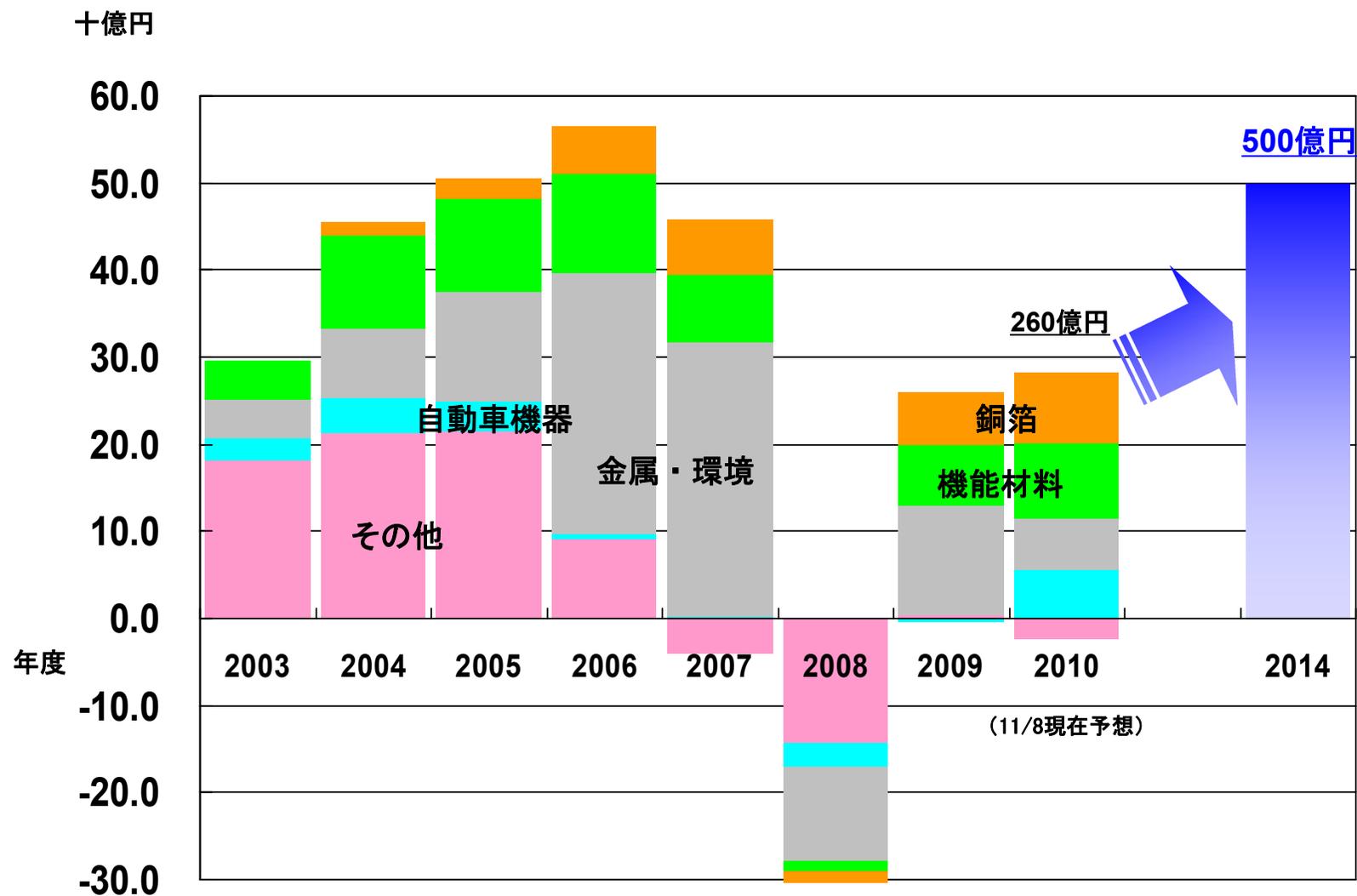
- 新しい成長の芽を継続的に探索し・・・
 - 一流のものづくりで・・・
- ⇒ 成長ドライバーを創出する

『自走できる大括りの事業部』

スケジュール



経常利益の新セグメント別推移 ～2014年度には500億円の達成を目指す



損益計算書

(十億円)	第2四半期累計期間			通期				
	'10/Q1-2	'09/Q1-2	増減	2010 今回予想	2009	増減	2010 5/6予想	増減
売上高	219.7	171.7	47.9 27.9%	436.0	392.4	43.6 11.1%	415.0	21.0 5.1%
売上原価	187.0	145.8	41.3 28.3%	-	325.5	-	-	-
売上総利益	32.6	26.0	6.6 25.6%	-	66.9	-	-	-
販売費・管理費	19.5	19.1	0.4 2.0%	-	39.0	-	-	-
営業利益	13.2	6.9	6.3 90.4%	25.3	27.9	-2.6 -9.3%	25.3	0.0 0.0%
営業外収支	2.0	-2.1	4.1	0.7	-2.2	2.9	0.7	0.0
経常利益	15.2	4.9	10.4 213.3%	26.0	25.6	0.4 1.4%	26.0	0.0 0.0%
特別損益	-0.2	-2.3	2.0	0.6	-4.1	4.7	1.0	-0.4
税引前利益	15.0	2.6	12.4 477.9%	26.6	21.6	5.0 23.4%	27.0	-0.4 -1.5%
税金費用・少数株主利益	3.7	1.1	2.7	8.1	7.7	0.4	8.5	-0.4
当期純利益	11.3	1.5	9.8 633.7%	18.5	13.9	4.6 33.1%	18.5	0.0 0.0%

事業セグメント別内訳 (十億円)

	上期			下期			通期		
	2009	2010	増減	2009	2010	増減	2009	2010	増減
■売上高									
銅箔	21.8	30.7	8.9 40.8%	23.8	31.0	7.2 30.1%	45.6	61.7	16.1 35.2%
機能材料	28.1	38.3	10.2 36.3%	34.5	40.7	6.2 17.9%	62.6	79.0	16.4 26.2%
金属・環境	65.4	79.9	14.4 22.0%	84.5	73.1	-11.4 -13.5%	150.0	153.0	3.0 2.0%
自動車機器	32.5	45.2	12.6 38.9%	45.7	45.6	-0.1 -0.2%	78.3	90.8	12.5 16.0%
その他	52.2	62.8	10.6 20.2%	71.4	57.8	-13.6 -19.1%	123.6	120.5	-3.1 -2.5%
調整額	-28.4	-37.1	-8.8	-39.4	-31.9	7.4	-67.7	-69.0	-1.3
連結	171.7	219.7	47.9 27.9%	220.6	216.3	-4.3 -2.0%	392.4	436.0	43.6 11.1%
■経常利益									
銅箔	2.9	4.4	1.5 50.9%	3.0	3.8	0.8 28.1%	5.9	8.2	2.3 39.4%
機能材料	1.3	4.6	3.2 240.7%	5.8	4.0	-1.8 -30.7%	7.1	8.6	1.5 20.4%
金属・環境	4.2	4.5	0.3 7.7%	8.4	1.4	-7.0 -83.0%	12.6	5.9	-6.7 -53.0%
自動車機器	-1.9	2.0	3.9	1.7	3.6	1.9 111.1%	-0.2	5.6	5.8
その他	1.1	1.7	0.6 57.2%	4.5	1.0	-3.5 -77.5%	5.6	2.7	-2.9 -51.6%
調整額	-2.7	-1.9	0.8	-2.6	-3.1	-0.5	-5.3	-5.0	0.3
連結	4.9	15.2	10.4 213.3%	20.8	10.8	-10.0 -48.1%	25.6	26.0	0.4 1.4%

注: 新セグメントの過年度数値は参考であり、各セグメントの数値について監査法人の監査を受けておりません。

四半期売上高および利益推移 (十億円)

	'09/Q1	'09/Q2	'09/Q3	'09/Q4	'10/Q1	'10/Q2	Q2増減 (前年比)	Q2増減 (前Q比)	'09/Q1-2	'10/Q1-2	増減
■売上高											
銅箔	9.7	12.1	11.3	12.5	15.1	15.6	3.6	0.5	21.8	30.7	8.9
機能材料	12.6	15.5	16.3	18.2	19.4	18.9	3.5	-0.5	28.1	38.3	10.2
金属・環境	28.1	37.4	41.3	43.2	39.2	40.7	3.3	1.5	65.4	79.9	14.4
自動車機器	14.0	18.6	22.1	23.7	21.3	23.9	5.3	2.6	32.5	45.2	12.6
関連・その他	21.5	30.8	32.7	38.7	34.1	28.7	-2.0	-5.3	52.2	62.8	10.6
調整額	-12.6	-15.7	-18.1	-21.3	-16.9	-20.2	-4.5	-3.4	-28.4	-37.1	-8.8
連結	73.2	98.5	105.6	115.1	112.1	107.6	9.1	-4.5	171.7	219.7	47.9
■営業利益											
(うち棚卸資産在庫要因 [b])	-0.5	7.4	9.7	11.3	7.1	6.1	-1.3	-0.9	6.9	13.2	6.3
	(1.4)	(3.6)	(5.0)	(1.8)	(-1.2)	(0.0)	(-3.6)	(1.2)	(5.0)	(-1.2)	(-6.2)
[a] - [b]	(-1.9)	(3.8)	(4.7)	(9.5)	(8.3)	(6.1)	(2.3)	(-2.1)	(1.9)	(14.4)	(12.5)
■経常利益											
銅箔	1.1	1.8	1.3	1.7	2.5	1.9	0.1	-0.6	2.9	4.4	1.5
機能材料	0.0	1.3	3.0	2.8	2.8	1.8	0.5	-0.9	1.3	4.6	3.2
金属・環境	0.9	3.3	4.5	3.9	2.1	2.4	-1.0	0.2	4.2	4.5	0.3
自動車機器	-1.6	-0.3	0.8	0.9	0.8	1.2	1.5	0.4	-1.9	2.0	3.9
関連・その他	-0.1	1.2	1.9	2.6	1.2	0.5	-0.7	-0.6	1.1	1.7	0.6
調整額	-1.8	-0.9	-1.7	-1.0	-0.4	-1.5	-0.6	-1.0	-2.7	-1.9	0.8
連結 [a]	-1.6	6.4	9.8	11.0	8.9	6.3	-0.1	-2.6	4.9	15.2	10.4
■当期純利益											
	-2.7	4.2	6.1	6.2	6.6	4.7	0.5	-1.8	1.5	11.3	9.8

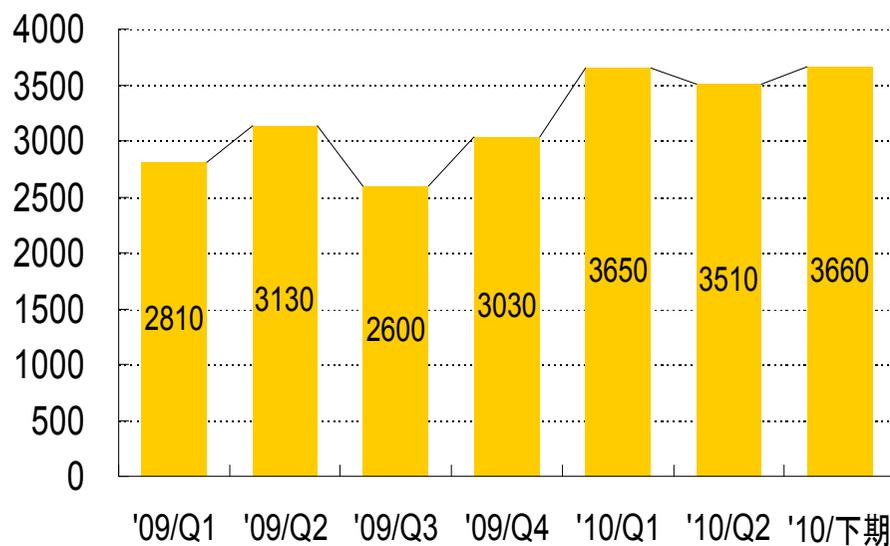
注: 新セグメントの過年度数値は参考であり、各セグメントの数値について監査法人の監査を受けておりません。

主要セグメントの業績(1)銅箔

(単位:十億円)

	'09/Q1-2	'10/Q1-2	増減	'09/Q3-4	'10/Q3-4 (予想)	増減	'09/通期	'10/通期 (予想)	増減
■売上高	21.8	30.7	8.9	23.8	31.0	7.2	45.6	61.7	16.1
■経常利益	2.9	4.4	1.5	3.0	3.8	0.8	5.9	8.2	2.3
売上高経常利益率	13%	14%	1%	13%	12%	0%	13%	13%	0%

銅箔販売数量 (t/月)



(11/8現在予想)

経常利益の増減説明

['09/Q1-2 → '10/Q1-2 +15億円]

・中国市場や高機能携帯向け中心に、需要回復は本格化。

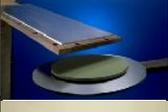
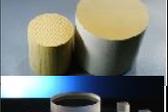
['09/通期 → '10/通期 +23億円]

・需要好調による販売増。

主要セグメントの業績(2)機能材料

(単位:十億円)

	'09/Q1-2	'10/Q1-2	増減	'09/Q3-4	'10/Q3-4 (予想)	増減	'09/通期	'10/通期 (予想)	増減
■売上高	28.1	38.3	10.2	34.5	40.7	6.2	62.6	79.0	16.4
■経常利益	1.3	4.6	3.2	5.8	4.0	-1.8	7.1	8.6	1.5
売上高経常利益率	5%	12%	7%	17%	10%	-7%	11%	11%	-1%

(機能材料製品)	(主な用途)
電池材料 	・ハイブリッド車向けニッケル水素電池 ・民生用リチウムイオン電池
機能粉 	・各種電子部品
薄膜材料 	・フラットパネルディスプレイ
レアメタル化合物 	・フラットパネル、ハードディスク研磨 ・デジタルカメラレンズ
自動車排ガス用触媒 	・二輪車用排ガス触媒
単結晶 	・半導体製造装置

経常利益の増減説明

['09/Q1-2 → '10/Q1-2 +32億円]

- ・国内およびアジアの電子材料需要回復。

['09/通期 → '10/通期 +15億円]

- ・各製品とも販売増も、原料価格は上昇傾向。

主要セグメントの業績(3) 金属・環境

(単位:十億円)

	'09/Q1-2	'10/Q1-2	増減	'09/Q3-4	'10/Q3-4 (予想)	増減	'09/通期	'10/通期 (予想)	増減
■売上高	65.4	79.9	14.4	84.5	73.1	-11.4	150.0	153.0	3.0
■経常利益	4.2	4.5	0.3	8.4	1.4	-7.0	12.6	5.9	-6.7
売上高経常利益率	6%	6%	-1%	10%	2%	-8%	8%	4%	-5%

金属価格・為替の推移

(予想)

	'09/Q1-2	'09/Q3-4	'10/Q1-2	'10/Q3-4
亜鉛(LME) \$/t	1,617	2,251	2,020	2,300
亜鉛(ヘッジ後) \$/t	1,560	2,100	2,070	2,300
鉛(LME) \$/t	1,713	2,257	1,991	2,300
銅(LME) ¢/lb	239	315	324	280
為替 yen/\$	95	90	89	80

2010年度下期損益感応度(経常損益)

亜鉛(LME) ±100\$/t	± 4億円
鉛(LME) ±100\$/t	± 0.7億円
銅(LME) ±10 ¢/lb	± 0.2億円
為替 ±1yen/\$	± 1億円

経常利益の増減説明(概算)

	['09/Q1-2 →'10/Q1-2]	['09/通期 →'10/通期]
相場(亜鉛)・為替	24	20
T/C条件(亜鉛)	-2	-6
たな卸資産在庫要因	-53	-85
コークス価格	-6	-17
持分変動損益	28	33
その他	12	-12
合計	3 億円	-67 億円

主要セグメントの業績(4) 自動車機器

(単位:十億円)

	'09/Q1-2	'10/Q1-2	増減	'09/Q3-4	'10/Q3-4 (予想)	増減	'09/通期	'10/通期 (予想)	増減
■売上高	32.5	45.2	12.6	45.7	45.6	-0.1	78.3	90.8	12.5
■経常利益	-1.9	2.0	3.9	1.7	3.6	1.9	-0.2	5.6	5.8
売上高経常利益率	-6%	4%	10%	4%	8%	4%	0%	6%	6%

経常利益の増減説明

['09/Q1-2 → '10/Q1-2 +39億円]

・自動車市場回復で増販。

['09/通期 → '10/通期 +58億円]

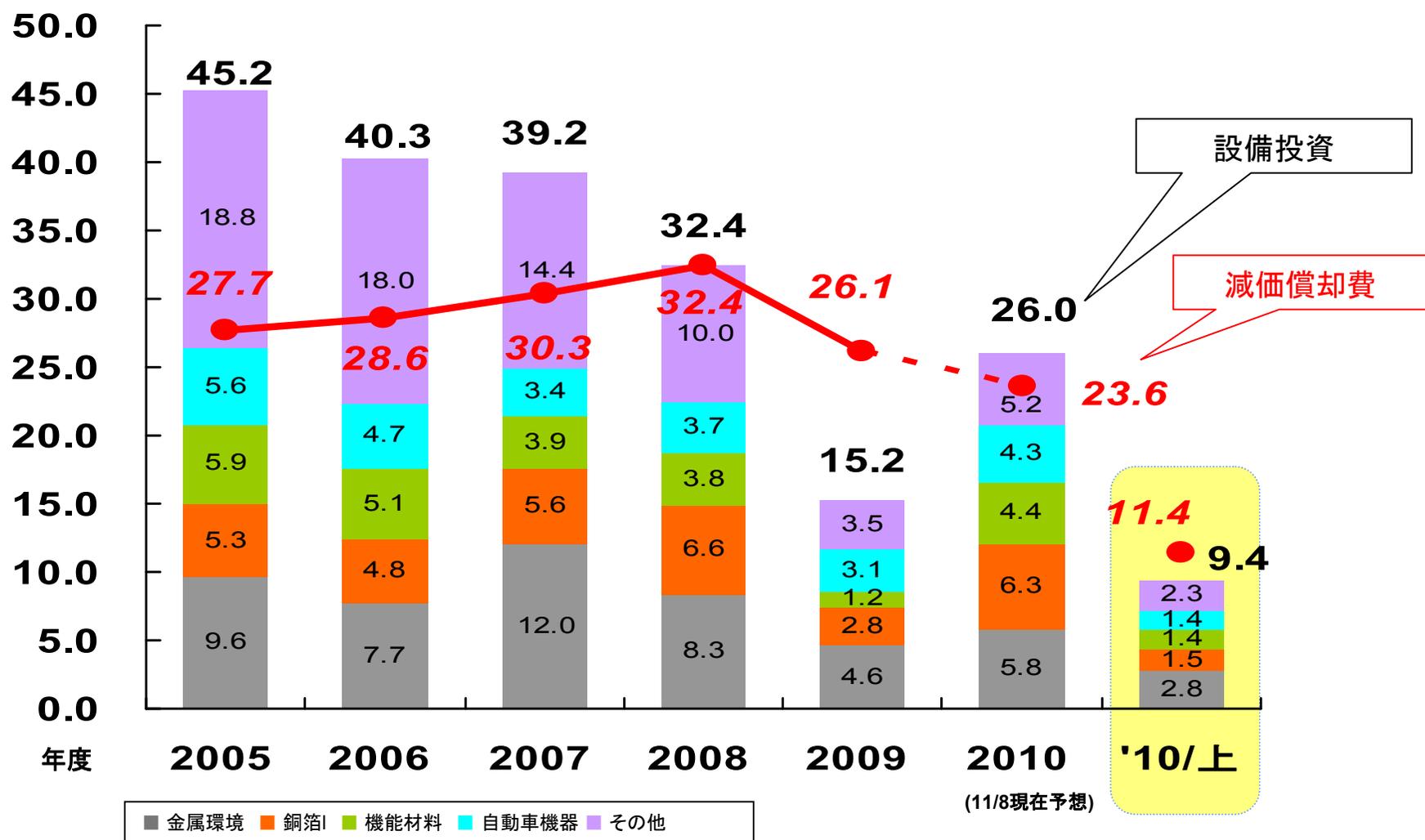
・自動車市場回復で増販。

営業外・特別損益

(単位:十億円)

	実 績			通 期				
	'10/Q1-2	'09/Q1-2	増減	2010 今回予想	2009	増減	2010 前回予想	増減
金利収支	-1.4	-1.4	0.0	-2.9	-2.7	-0.3	-3.3	0.3
受取配当金	1.2	0.2	1.0	1.3	0.3	1.0	0.6	0.7
持分法投資損益	2.9	0.1	2.8	3.5	1.6	1.9	3.6	-0.1
銅価格(¢/ポンド)	(324 ¢)	(239 ¢)	(85 ¢)	(302 ¢)	(277 ¢)	(25 ¢)	(280 ¢)	(22 ¢)
亜鉛価格 (\$/t)	(\$2,020)	(\$1,617)	(\$403)	(\$2,160)	(\$1,934)	(\$226)	(\$2,300)	(-\$140)
その他	-0.8	-1.0	0.3	-1.1	-1.5	0.5	-0.2	-0.9
営業外損益 計	2.0	-2.1	4.1	0.7	-2.2	2.9	0.7	0.0
投資有価証券評価損	-0.1	-0.9	0.9	-0.1	-0.9	0.9		-0.1
補償金・賠償金	-0.5	-0.1	-0.5	-0.6	-0.1	-0.5	-0.1	-0.5
固定資産除売却	-0.4	-0.2	-0.2	-1.0	-0.6	-0.4	-1.0	0.0
減損損失	-0.9	-0.1	-0.8	-1.0	-0.7	-0.4		-1.0
棚卸資産処分損失引当金		1.8	-1.8		1.8	-1.8		0.0
伸銅事業持分変動損益	2.0		2.0	2.0		2.0	4.1	-2.1
事業構造改善費用	-0.1	-2.7	2.7	-0.2	-2.9	2.7	-0.1	-0.1
その他	-0.2	0.0	-0.2	1.5	-0.6	2.1	-1.8	3.3
特別損益 計	-0.2	-2.3	2.0	0.6	-4.1	4.7	1.0	-0.4

設備投資・減価償却 (十億円)

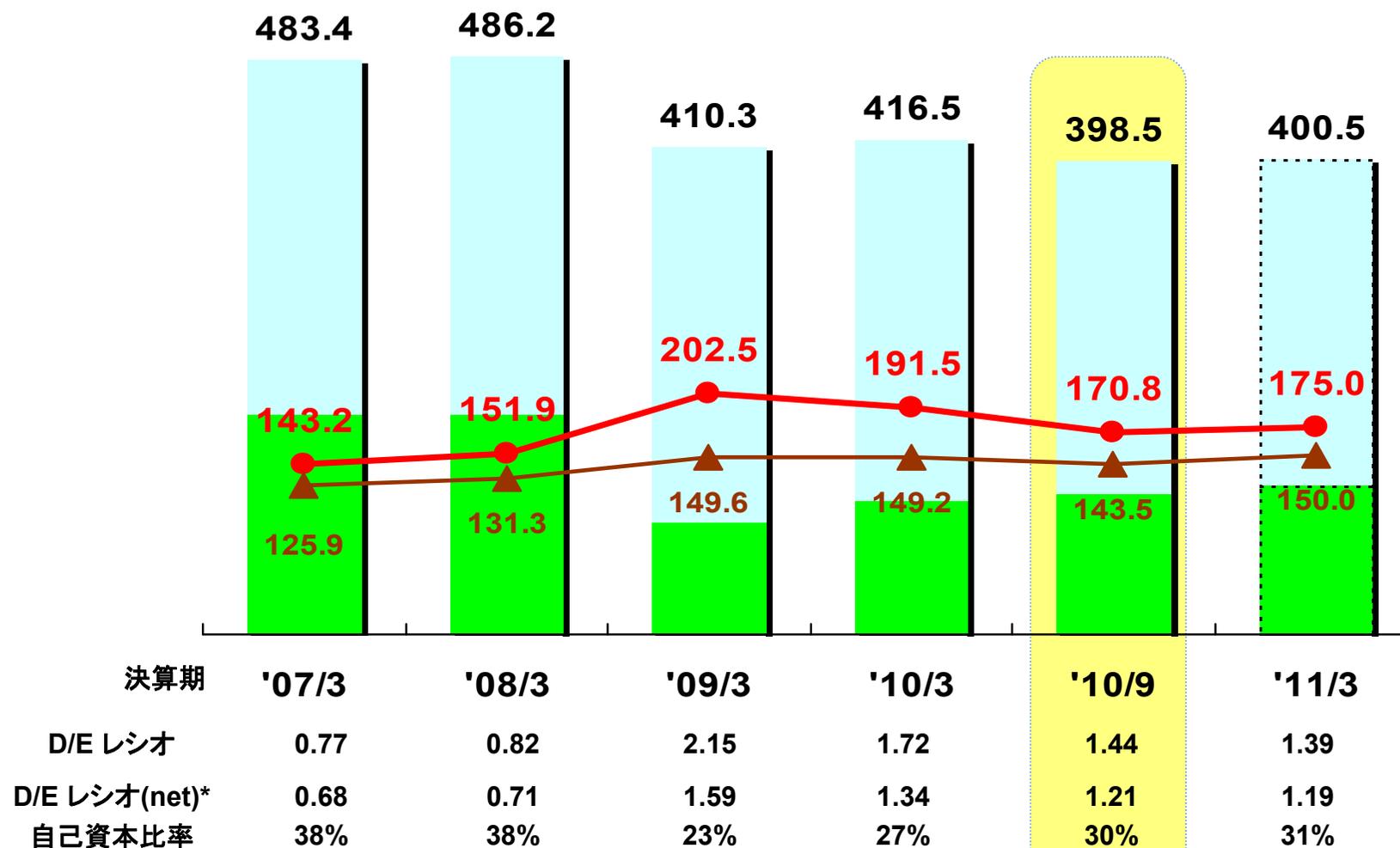


注:新セグメントの過年度数値は参考であり、各セグメントの数値について監査法人の監査を受けておりません。

財政状態

(単位：十億円)

総資産 自己資本 有利子負債残高 Net有利子負債残高

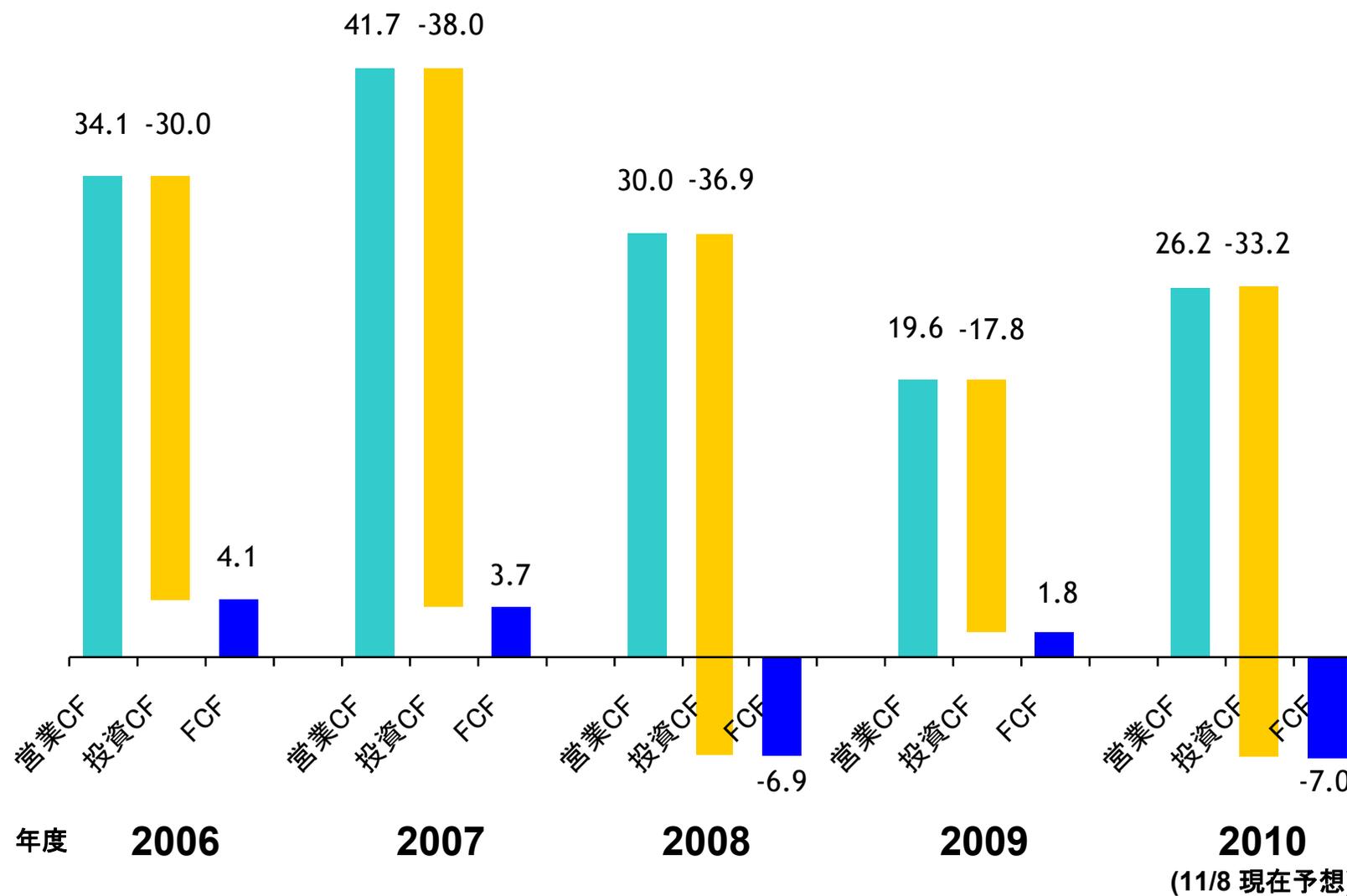


* Net 有利子負債/自己資本

(11/8現在予想)

キャッシュフロー (1)

(単位：十億円)



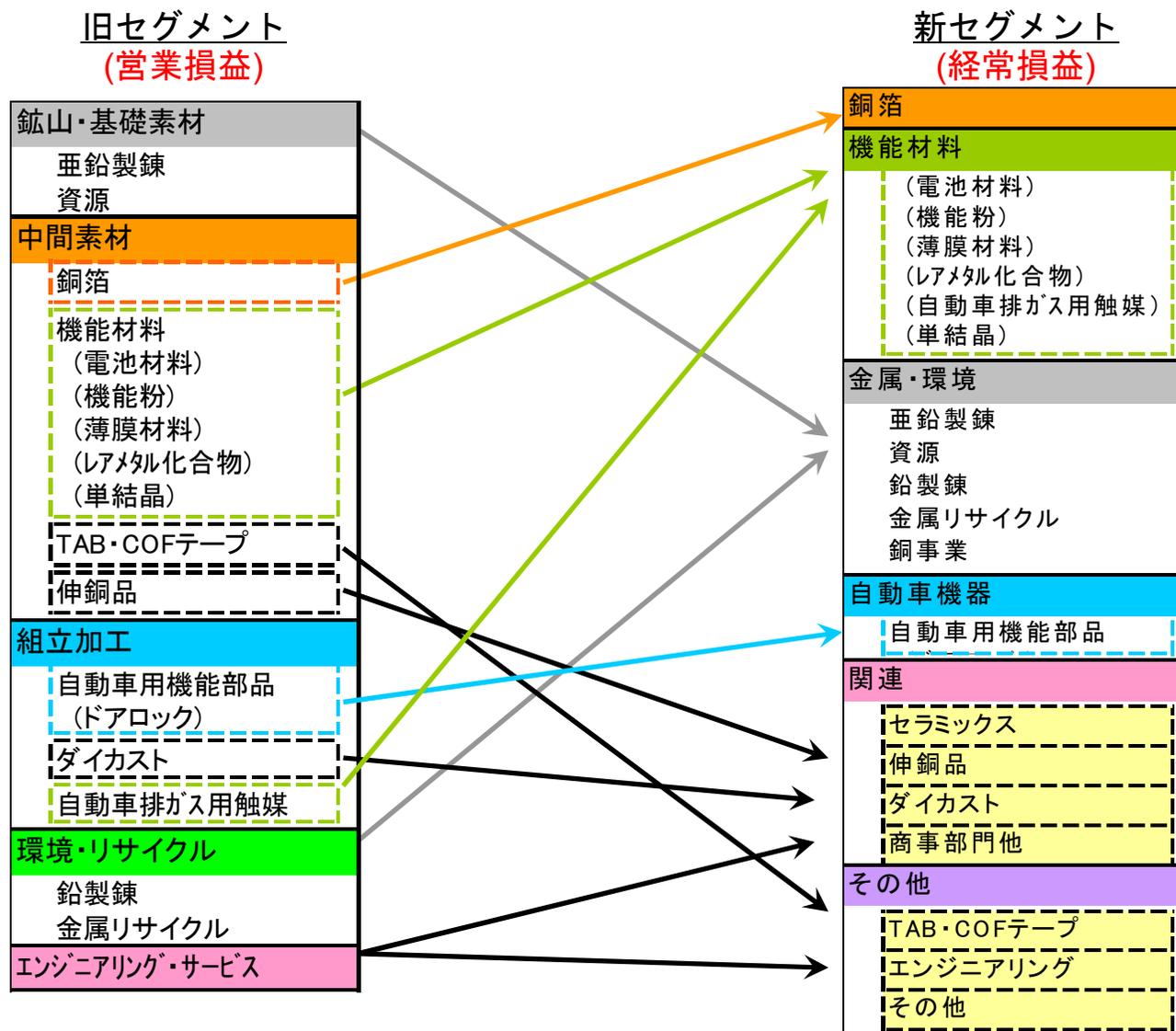
キャッシュフロー(2)

(単位：十億円)

	'09/Q1	'09/Q2	'09/Q3	'09/Q4	'10/Q1	'10/Q2	Q2増減 (前年比)	Q2増減 (前Q比)	'09/Q1-2	'10/Q1-2	増減	'09/通期	'10/通期 (予想)	増減
■営業キャッシュフロー	-5.6	3.8	1.4	20.0	3.3	4.6	0.7	1.3	-1.8	7.8	9.6	19.6	26.2	6.6
■投資キャッシュフロー	-4.3	-3.1	-3.1	-7.4	-4.6	-4.0	-1.0	0.6	-7.3	-8.7	-1.3	-17.8	-33.2	-15.4
■フリー・キャッシュフロー	-9.9	0.8	-1.7	12.6	-1.4	0.5	-0.3	1.9	-9.1	-0.8	8.3	1.8	-7.0	-8.8

(参考)セグメンテーションの変更～マネジメント・アプローチによる開示

2010年度より、社内の意思決定区分に従い、損益管理単位である経常損益でセグメント情報を開示。
(売上高基準により、今回より関連事業セグメントも開示)



将来の見通しに関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、様々な既存のリスク、未知のリスク、不確定要因等を伴っているため、実際の事業環境・事業活動は、これらによる影響を受けることとなります。したがって、将来の見通しに関する記述内容またはそれによって示唆されている内容が、実際に生じる結果と大きく異なる可能性もあります。

本資料は、将来の見通しに関する記述の中で使用されている目標、想定、期待、予測、計画、評価等の情報が正確である、または将来その通りになるということを、当社が保証したものではありません。

将来の見通しに影響を与えうる潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書またはホームページの「事業等のリスク」の項目に記載されておりますが、潜在的リスクや不確定要因がその項目ですべて網羅されている訳ではありませんので、その旨ご注意ください。

本資料は、株主・投資家等の皆様に、当社の経営方針・経営情報等をよりよくご理解いただくことを目的として作成しており、当社の株式の購入・売却など、株式等の投資を勧誘することを目的としたものではありません。したがって、皆様が実際に投資なさる際には、本情報に全面的に依拠して判断を下すのではなく、あくまでご自身で投資の可否をご判断くださいますよう、お願いいたします。